

昆虫標本

1. 活動概要 地球上に存在する生物のうち 70%が昆虫です。ですから昆虫は「自然」とも「人間」とも深い関わりを持っている生物といえます。そして、標本は本物の生物を保存するものでさまざまな研究の証拠となるため、学術的に非常に大きな価値があります。また、昆虫を採集し種類や名前、特徴などを自ら図鑑にて調べることで、昆虫への興味と理解を一層深めることができます。また、その調べた内容の他、採集場所、採集年月日、採集方法などを標本と共に記録することで、たいへんな資料価値となります。

2. 活動場所 《採集》 自然の家周辺
《制作》 サービスセンター

3. 所要時間 3時間 ～ 4時間

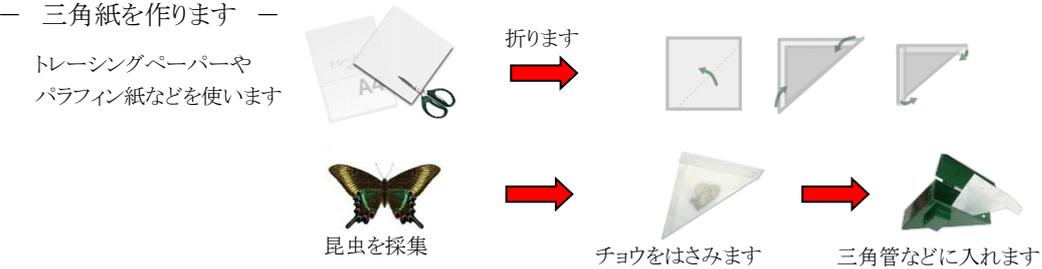
4. 費用 500 円(標本セット代)

※標本セットが必要な場合は、準備に時間がかかりますので事前にご相談ください。

5. 準備 《自然の家》 三角紙・昆虫針・留め針・ピンセット・展脚板・展翅板
《各自》 捕虫網・捕虫カゴ・標本箱

6. 活動内容 — 昆虫標本（乾燥標本）について —
博物館などでよく見かける標本のほとんどが乾燥標本です。乾燥標本の製作は簡単で「採集」「整形」「乾燥」「保存」の4つでできます。昆虫は乾燥させると硬くなり腐ることがないため、標本箱に並べるだけで保存のきく標本となります。また、管理によっては、数百年以上も保存することができます。

①採集 捕虫網などで昆虫を採集した後、三角紙や三角管、殺虫管などで保管し、昆虫に傷がつかないようにして持ち帰ります。



- ②整形 昆虫を見やすくするために、ピンセットなどを使い美しい形に整えます。整形せずに標本にするのと、整形してから標本にするのでは観察のしやすさ、美しさに格段の違いがありますので丁寧に作業します。



土などで汚れている場合は、きれいに洗いティッシュペーパーなどで十分に水分をふきとります。この時、つめや触覚を壊さないようにします。もし、壊れた場合は木工用ボンドなどの接着剤で修復します。

例：チョウの場合



足、つめ、触覚、頭の位置などを美しく整えた昆虫の体に昆虫針を左右対称に刺します。横、前後から見て昆虫針が垂直になっているか確認します。

- ③乾燥 整形をして形になった標本は数週間おいて乾燥させます。乾燥させることで昆虫の体が硬くなり形が崩れにくく、保存がきく状態になります。標本が完全に乾いたら、もう一度、左右対称になっているか確認し、細かいところを調整して仕上げます。
- ④保存 自然のままの状態、長い間保存するには、市販されている丈夫な標本箱などに整理し、防虫剤や乾燥剤を入れます。お菓子の箱などで代用することもできますが、虫に食われたり変色したりと問題が起こりやすくなるので注意して保管してください。また、昆虫の科名、学名、採集場所、年月日などを記録し一緒に保管します。

標本表示例

和名：○○○○科
科名：○○○○
学名：○○○○



採集年月日：○○年○○月○○日
採集場所：山形市少年自然の家
採集者：○○○○

7. 実施上の留意点

- ①採集 ・必要以上に昆虫を採集し、自然を破壊しないようにします。
・帽子などを着用し熱中症に注意します。
- ②標本 ・作業はていねいに行います。
・針や薬品を使う場合は取り扱いに注意します。
・作業後は用具の点検と返納を確認し、清掃します。